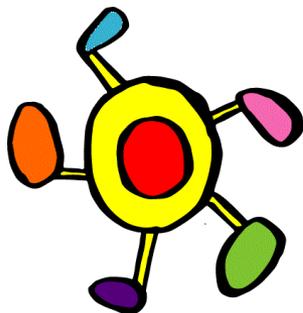


健康増進計画「すこやか大阪21 (第2次後期)」 最終評価 概要

全ての市民がすこやかで心豊かに生活できる活力あるまち・健康都市大阪の実現



すこやか大阪21

すこやか大阪21（第2次後期）の策定過程と経過

※最終評価 1～4ページ

- 大阪市では、平成13（2001）年3月、「全ての市民がすこやかで心豊かに生活できる活力あるまち・健康都市大阪の実現」を基本理念に、大阪市健康増進計画「すこやか大阪21」を策定し、平成25（2013）年度から大阪市健康増進計画「すこやか大阪21（第2次）」として推進してきた。
- 第2次計画の最終年度にあたる平成29（2017）年度に実施した最終評価では、全体の目標項目の約6割で一定の改善が見られたが、目標値に達した項目は約1割という結果であった。
- この結果を受け、継続的な健康づくりの推進が引き続き重要となることから、第2次計画の延長計画として、大阪市健康増進計画「すこやか大阪21（第2次後期）」を策定した。

イメージ図

全体目標

健康寿命の延伸

健康格差の縮小

① 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底およびこころの健康づくり

・がん ・循環器疾患 ・糖尿病 ・COPD ・骨粗しょう症 ・こころの健康
(主に高血圧・心疾患・脳血管疾患) (慢性閉塞性肺疾患)

取り組む
項目

② ライフステージに応じた生活習慣の改善

栄養・
食生活

身体活動・
運動

休養

アルコール

たばこ

歯・口腔の
健康

③ 健康を支え、守るための地域づくり

最終評価の目的と方法

※最終評価 5～6ページ

➤ 最終評価の目的

策定時に設定された目標の達成状況や関連する取り組みの状況を評価するとともに、令和6（2024）年度からの次期計画に反映させることを目的とする。

➤ 最終評価の方法

全体目標と13分野の目標（**76項目**）について、原則として、計画策定時に用いた調査と同様の調査方法を用いて、各項目の数値を得た。

目標値に達していないものについて、策定時の値と現状値を比較（一部項目を除き統計的有意差検定を実施）するとともに、分析上の課題や関連する調査・研究 データの動向も踏まえ、以下の5段階で評価。

A	目標値に達した
B	目標値に達していないが改善傾向にある
C	変わらない
D	悪化している
E	評価困難

※統計的有意差検定を行わない指標の場合

B、Dの区分は、相対的に5%以上の変化を目安とする

（例） 25%→28%の変化
（相対的に12%増加）

「総括的評価」 結果： 健康寿命の延伸

※最終評価 7～8ページ

➤ 「すこやか大阪2 1（第2次後期）」は、健康寿命の延伸、健康格差の縮小を全体目標として掲げている。

➤ 「健康寿命の延伸」について

平成27（2015）年から令和3（2021）年で、大阪市の男性の平均寿命は0.70年、健康寿命は0.46年、女性の平均寿命は0.89年、健康寿命は0.54年の伸びが見られ、平均寿命の増加を上回る健康寿命の増加は見られなかった。

	大阪市 平均寿命		大阪市 健康寿命		H27→R3増加分	
	平成27 (2015)年	令和3 (2021)年	平成27 (2015)年	令和3 (2021)年	平均寿命	健康寿命
男性	78.87	+0.70年 → 79.57	77.14	+0.46年 → 77.60	+0.70	> +0.46
女性	86.39	+0.89年 → 87.28	82.63	+0.54年 → 83.17	+0.89	> +0.54

(参考) 大阪市の健康寿命の算出方法

- 「健康上の問題で日常生活が制限されることがなく生活できる期間」と定義
- 健康寿命の算定には、次の①から③の方法があり、本市では、③の方法により、介護保険要介護者数等のデータを用い、健康寿命の算定プログラム（厚生労働科学研究班）により算出している。

① 日常生活に制限のない期間の平均

② 自分が健康であると自覚している期間の平均

※①②は「国民生活基礎調査」の結果から算出
(主に都道府県)

③ 日常生活動作が自立している期間の平均

介護保険要介護者数等を用いて算出
(主に市町村)

【令和元年】
健康寿命（大阪市）
男性 69.48歳
女性 73.01歳

【令和元年】
健康寿命（大阪市）
男性 77.96歳
女性 83.22歳

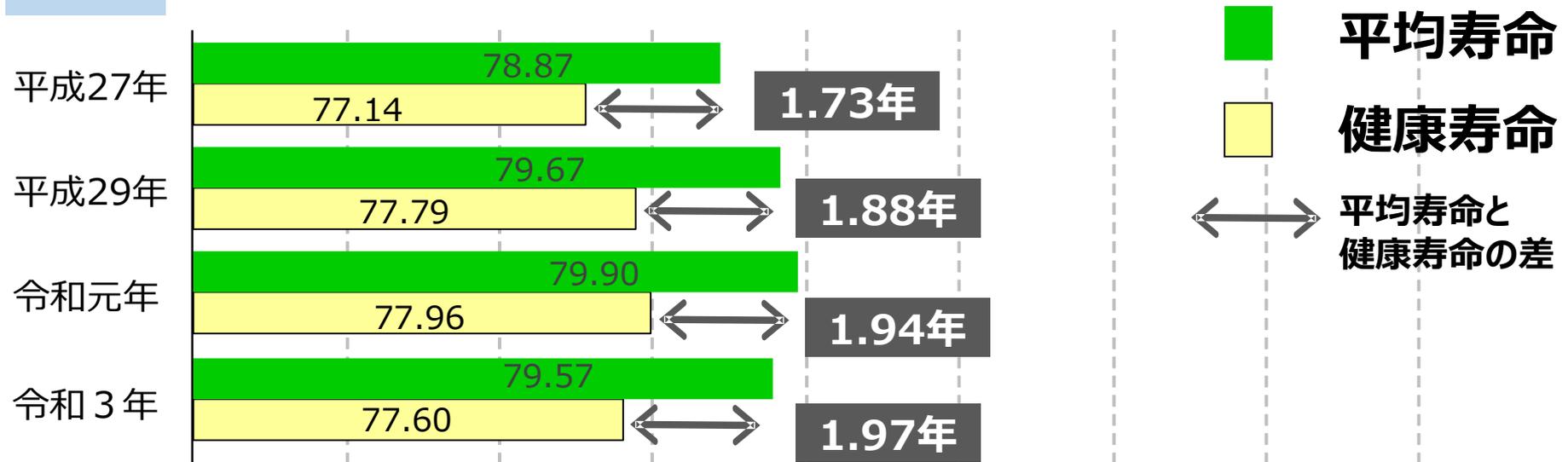
大阪市データ

①令和3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金分担研究報告書より引用

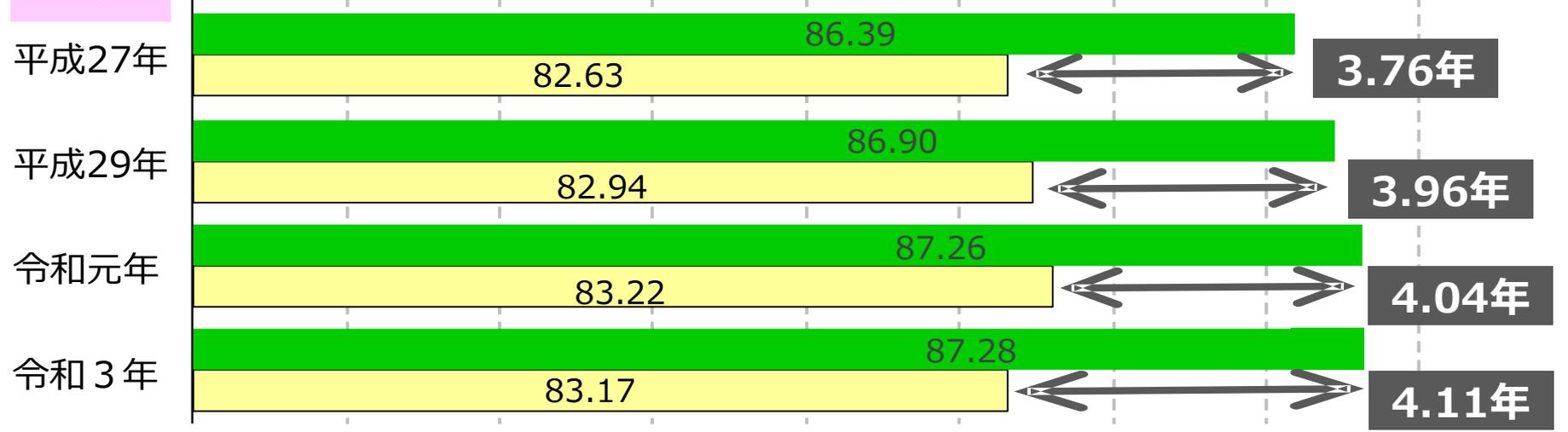
③厚生労働科学 健康寿命研究による「健康寿命算定プログラム」で算定

(参考) 大阪市における健康寿命の推移

男性



女性



「総括的評価」 結果：健康格差の縮小

※最終評価 7～8ページ

➤ 「健康格差」について

健康寿命に関連する4項目（喫煙、肥満、高血圧、高血糖）について、計画策定時の本市全体の状況と評価年の各区の状況を比較することで、健康格差の縮小に関する評価を試みた。その結果、喫煙率のみ目標を達成したが、他の項目では悪化を認めた。今回指標に用いた4項目が健康寿命に関連することは明らかになっているが、各指標の改善がどれほど健康格差の縮小に寄与するかは明らかになっておらず、本市の健康格差縮小を評価する指標については、再考が必要と考える。

		喫煙率		高血圧有病者割合		糖尿病有病者割合		肥満者割合	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
策定時の 大阪市 平均を 下回る 区の数	平成27 (2015)年	13区	13区	13区	10区	12区	13区	10区	11区
	令和3 (2021)年	4区	8区	14区	15区	17区	13区	22区	20区

「各分野の目標達成状況等の評価」 結果

※最終評価 7～8ページ

- 13分野の目標（**76項目**）について、原則として、計画策定時に用いた調査と同様の調査方法を用いて、各項目の数値を得た。
- 評価のできた目標項目のうち、Aの「目標値に達した」とBの「目標値に達していないが改善傾向にある」を合わせ、策定時と比較して、**全体の約 5 割弱(45.8%)の改善がみられた。**

* 1項目については参考値で評価

評価区分 (策定時のベースライン値と直近の実績値を比較)	該当 項目数	割合 (%)	Eを除く割合 (%)
A 目標値に達した	18*	23.7	25.0
B 目標値に達していないが改善傾向にある	15	19.7	20.8
C 変わらない	26	34.2	36.1
D 悪化している	13	17.1	18.1
E 評価困難	4	5.3	—
合計	76	100.0	100.0

「各分野の目標達成状況等の評価」 結果

➤ 基本的な方向性別の評価区分 (**76項目**)

※最終評価 10～12ページ

* 1項目については参考値で評価

評価区分 (策定時のベースライン 値と直近の実績値を 比較)	① 生活習慣病の発 症予防と重症化 予防の徹底及び こころの健康づくり	② ライフステージに応 じた生活習慣の 改善	③ 健康を支え、守る ための地域づくり	全体
A 目標値に達した	5	13*		18*
B 目標値に 達していないが 改善傾向にある	9	6		15
C 変わらない	6	19	1	26
D 悪化している	10	2	1	13
E 評価困難	4			4
合 計	34	40	2	76

★一部の指標 (**特に生活習慣病に関するもの**) は悪化・目標未達成

「各分野の目標達成状況等の評価」 結果

➤ 各評価区分に該当する目標項目 (76項目)

※最終評価 7～8ページ

区分	目標項目	
A	<p>男性：75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少（人口10万対） 女性：脂質異常有病者割合の増加の抑制 特定保健指導の実施率の向上 COPDの認知割合の増加 自殺率の減少傾向の維持（人口10万対） 栄養成分表示やヘルシーメニューの提供等に取り組む飲食店の数の増加</p>	<p>軽く汗をかく運動の継続者の増加 運動に取り組む機会の提供 成人の喫煙率の減少 受動喫煙の機会を有する者の割合の減少（学校） 3歳児でう蝕がない者の割合の増加 12歳児の一人平均う歯数の減少 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加</p>
B	<p>女性：75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少（人口10万対） 胃がん・肺がん検診（市民全体、40歳以上） 女性：大腸がん検診（市民全体、40歳以上） 肺がん検診（大阪市がん検診受診者、40歳以上） 子宮頸がん検診（大阪市がん検診受診者、20歳以上） 特定健康診査の受診率の向上</p>	<p>朝食欠食率の減少（高校生） 運動に取り組む人の増加 妊娠中の飲酒をなくす 受動喫煙の機会を有する者の割合の減少（家庭） 過去1年間に歯科健診を受診した者の割合の増加 60歳代における咀嚼良好者の割合の増加</p>
C	<p>男性：大腸がん検診（市民全体、40歳以上） 子宮頸がん検診（市民全体、20歳以上） 乳がん検診（市民全体、40歳以上） 大腸がん検診（大阪市がん検診受診者、40歳以上） 血圧コントロール不良者割合の減少 血糖コントロール不良者割合の減少 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加 朝食欠食率の減少（中学生、20～39歳男性） 昼食を1人で食べる人の割合の減少</p>	<p>栄養成分表示等を参考にしている者の割合の増加 ロコモティブシンドロームの認知割合の増加 睡眠で休養が十分に取れていない者の減少 多量飲酒者の割合の減少 未成年者の飲酒をなくす 未成年者の喫煙をなくす 妊娠中の喫煙をなくす 40歳代で進行した歯周炎を有する者の割合の抑制 地域のつながりが強い方だと思ふ者の割合の増加</p>
D	<p>胃がん検診（大阪市がん検診受診者、40歳以上） 乳がん検診（大阪市がん検診受診者、40歳以上） 高血圧有病者割合の増加の抑制 男性：脂質異常有病者割合の増加の抑制 メタボリックシンドローム該当者及び予備軍割合の減少</p>	<p>糖尿病有病者割合の増加の抑制 骨粗しょう症検診受診者の増加 適正体重を維持している者の増加（40～69歳代男性の肥満者割合） ボランティア活動や趣味などに自主的に取り組む者の割合の増加</p>
E	<p>脳血管疾患年齢調整死亡率の減少（人口10万対）</p>	<p>虚血性心疾患年齢調整死亡率の減少（人口10万対）</p>